



平成 26 年 10 月号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏
宗 教 編	
法 話	得勝寺 本莊一治… 1
医 学 編	
自分の解剖	長生学園非常勤講師 鶴見大学歯学部解剖 小寺春人… 3
坐骨神経痛の治療体験(1)	神奈川県 西田明生… 6
長生会支部報告	
第4代会長の布教伝道	北海道連合会 大村和彦…12
医療情報	14
ご注意ください!	15
長生歌壇	17
第88回医学会・報恩講・阿城院釋眞情法師三回忌法要	19
第1回ボーリング大会・懇親会のお知らせ	19
平成27年度(第60期生)長生学園学生募集要項	20
計 報	21

日本長生医学会

会長の言葉

総本山長生寺管長 柴田政宏
日本長生医学会会長

今年の夏の天候は、地球温暖化の影響で例年と違う傾向が顕著に現れているようです。

太平洋の海水の温度上昇に伴い全地球規模での異変が表れて来たという科学者の発言も良く耳にするようになってきました。ゲリラ豪雨という現象も珍しいことでは無くなり、多大な被害も地域を選ばず起こっており、何が起こるか解らない時代に突入しているのです。

さて、今年も長生学園では、来年度の入学生を迎えるための入学考査が行われました。入学希望者の中に本年も親の背中を見て育った長生3世、4世の方々が、長生の素晴らしさを目を輝かせながら話してくれました。

入学試験官である修伽先生は、傘寿を迎えられ一安心なされた事と、今年は心労が度重なる出来事が多々発生し、入試当日は腰痛が発生し、歩ける状態ではなかったのですが、長生三代四代を受け継ごうという受験生と話している間に、すっかり元気を取り戻しておられたのです。

試験終了後、修伽先生は、阿や管長のことを話されたのです。

「人間は、年齢なんか考えるんじゃないのよ。『もう駄目』と『まだこれから』では大きな違いがあるでしょ。大切なのは『もう』ではなく『まだまだ』なのです。」

との教えを思い出し、心を新たに頑張れたと話しておられましたが、精神が肉体に及ぼす様を修伽先生はまざまざと示して下さいました。

改めて長生医学の精神療法の重要性を、教えられた思いでした。

長生上人は、『霊肉救済』の真実の教えを受け継ぐ方々が50名いれば長生療術は永遠に受け継がれる」との言葉を遺されたと聞かされておりました。先日米寿をお迎えになられた大村基實先生は、春、秋の長生寺恒例行事には半世紀を遥かに越える期間、欠かさずお参り頂いておりますが、大村先生の様な先達の先生方の奉仕の精神で、長生上人の教えが守られてきているのです。

これから益々世の中の変化は激しくなることでしょう。しかし、世の中から病で苦しむ方々がいなくなる事は決してありません。「純宏精神」の本義を心に刻み、患者さんと共に生きて行く道をお示しくくださった長生上人に報恩感謝を捧げなくてはなりません。

合掌